

★OJT指導者研修

教え合う・学び合う職場風土の醸成

狙い	若手の就労意識・生活意識は多様性が増し、これからのOJTは、従来の「計画的な育成（OJT）計画」と合わせて、「個々の特性・価値観にフォーカスしたアプローチ」が必要になってきます。また、多様性を活かした人材育成は、変化が激しく、前例や正解がない時代にとって、戦略的にも重要です。・一朝一夕にはできないことですが、だからこそ、日々のリーダーのコミュニケーションスキルを高め、組織内で自律的に高め合う職場風土を醸成していくことが効果的です。
対象	リーダー
内容	<p>所要時間：3時間</p> <p>1.オリエンテーション</p> <p>2.OJT・人材育成の重要性 ①社会環境変化と組織での人材育成の重要性 ②リーダーに求められる役割 ③自分の指導の姿勢をチェックする</p> <p>3.教え合う・学び合う職場風土の醸成 ①若手の就労意識・生活意識 ②効果的な職場の関係性 ③OJT指導者任せではない職場環境の構築</p> <p>4.指導・育成に必要なコミュニケーション ①コーチング/ティーチングの活用 ②コーチング技法の習得（傾聴・承認・質問） ③リーダーに求められる「考えさせる・方向づける」関わり</p> <p>5.まとめ</p>
運営	◇主催：HORP各支部
	◇講師：平井彩子事務所 中小企業診断士 平井 彩子 氏
	◇オンライン研修
	◇教材：テキスト配布
備考	